

平成21年度

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価報告書

平成22年9月

大東市教育委員会

# 目 次

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について	1
第1 大東市教育委員会の活動の概要	2
1 活動の概要	2
2 教育委員会の活動	3
3 平成21年度教育委員活動状況	4
第2 主要な施策の点検・評価	7
1 学び合う授業づくり（授業改善の推進）	7
2 国語力の向上	8
3 自学自習力の向上	9
4 小学校英語教育の条件整備	10
5 学校教育を支援する外部人材の活用	11
6 小中連携教育の推進	12
7 長欠・不登校、いじめ対策推進	13
8 特別支援教育の推進	14
9 学校適正配置の推進	15
10 野崎青少年教育センター事業	16
11 北条青少年教育センター事業	17
12 大東市立学校・園大規模改修事業	18
13 公立小学校の安全対策	19
14 小学校給食調理業務委託事業	20
15 生涯学習の推進	21
16 青少年の健全育成	22
17 文化・芸術活動の振興	23
18 地域文化資源の活用	24
19 四条小学校の跡地活用	25
20 スポーツ施設の充実	26
21 体育・スポーツの振興	27
第3 点検・評価に関する有職者からの意見	28

## 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

### 1. 趣旨

- (1) 大東市教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- (2) 点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

#### 【参考法令】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

##### 第27条 <一部省略>

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2. 点検・評価の対象

平成21年度の点検及び評価の対象事業については、大東市教育ビジョン、大東まなびの文化創造プランから主要施策となるものを選定し、平成21年4月から平成22年3月末までの取組み状況を対象とする。

### 3. 点検・評価の実施方法

- (1) 点検及び評価は、施策・事業の取組状況および内容を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性を示すものとし、毎年1回実施する。
- (2) 施策・事業の効果等を取りまとめ、学識経験者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検及び評価を行う。
- (3) 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を大東市議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

## 第1 大東市教育委員会の活動の概要

### 1 活動の概要

大東市教育委員会は、今日の「知識基盤社会」の流れ、教育の動向、本市の教育課題等を抜本的に検討しながら、平成21年4月に、今後10年間を見通した本市のめざす教育の方向性を「大東市教育ビジョン」(学び合う学校園づくり)として策定した。これに基づき、平成21年度より様々な教育施策を展開している。

学校教育部においては、「大東のめざす子ども像」を1.「豊かな心」「確かな学力」と「健やかな体」を身につけた子ども 2.「自ら学ぶ力」と「学び合う力」をつけた子ども 3. 自分や友達、家族を大切にし、地域を支える子ども 4.生涯にわたって自ら学び続けようとする子どもとし、その実現に向け教育委員会と各学校園が協同しながら、教育ビジョンに示した実施計画を展開している。特にビジョンⅠ・Ⅱの社会力・人間力向上に関しては、教育政策室各グループにおいて、人的・物的様々な面から企画・実施、指導助言等その施策に力を入れている。学校管理課では、市内各学校の耐震補強工事を進めるなど、安全な学校環境の整備にも努めている。平成19年に設立された教育研究所においては、「学び合う」授業づくり推進事業を核とし、市費非常勤講師の配置や初任者教諭対象「ビデオ授業研」交流会の実施等、全市的な取り組みを展開している。

野崎、北条にある青少年教育センターは、基本的人権の尊重、児童の権利に関する条約および本市「差別撤廃・人権擁護都市宣言」の趣旨に基づき、人権意識の高揚を図るとともに青少年の健やかな育成の推進に資するために設立された。現在、異年齢交流をはじめ、多くの人との出会いやふれあいを大切にした自主的・主体的な活動や交流を実現するために、子ども育成事業(デイサービス)、生涯学習支援企画事業を始めとして、人権教育総合相談事業、人権教育・人権情報発信事業などの幅広い事業を行っている。

生涯学習部においては、平成19年度に「大東まなびの文化創造プラン」を策定し、生涯学習・スポーツ・文化を通じて、市民一人ひとりが楽しく心豊かで充実した生活を送ることができるまちの実現を目指している。

そのため、生涯学習センターをはじめとした様々な学習施設を整備し、すべての市民が生涯を通じて自発的に学習し、生き生きと生活できる環境の提供に努めてきた。今後も社会教育委員会議での意見をふまえつつ、市民の多様なライフスタイルや生きがいに応じた生涯学習内容の充実を図っていく。

また、市民が気軽にスポーツを楽しめるよう、既存施設を有効活用した各種スポーツ事業を実施するとともに、龍間運動広場など多様な施設を整備し、より多くの市民がスポーツに親しめる環境づくりに努めている。

教育委員会は、今後も「学び合い、学び続ける明日の市民の育成」を基本理念として、市民や地域とともに、真に教育や学校の質を高めていくべく、教育行政を推進していく。

## 2 教育委員会の活動

(1) 教育委員（平成21年度） 定数：5人 任期：4年

役職	氏名	当初任命年月日	任 期
委員長	田中 美穂	平成10年10月6日	自平成18年10月6日 至平成22年10月5日
委員長職務 代理者	小南 市雄	平成17年10月8日	自平成21年10月8日 至平成25年10月7日
委員	小倉 秀夫	平成21年10月28日	自平成21年10月28日 至平成25年10月27日
委員	金林 良子	平成22年3月26日	自平成22年3月26日 至平成24年9月30日
委員 (教育長)	中口 馨	平成13年9月17日	自平成21年9月17日 至平成25年9月16日
前委員	日野 哲造	平成13年10月28日	自平成17年10月28日 至平成21年10月27日
前委員	古川 真照	平成20年10月1日	自平成20年10月1日 至平成21年12月24日

(2) 教育委員会会議の開催状況

原則として毎月1回「定例教育委員会」を開催し、必要に応じて「臨時教育委員会」を開催している。

(3) 教育委員会会議の結果の公表状況

教育委員会会議については、一部非公開となった内容以外は、平成22年1月の教育委員会会議の結果から大東市ホームページにおいて公開し、教育委員会の透明性の確保に努めている。

(4) 教育委員の学校園訪問や各種行事等への参加状況

学校園の実情を把握するため、教育委員による学校訪問を実施し、学校経営・授業等に対し指導・助言を行っている。さらに、学校園の研究発表会や学校行事への参加などの活動を行っている。

また、成人の日記念行事等の社会教育関連行事への参加も行っている。

(5) 研修会等への参加の実施

大阪府都市教育委員会連絡協議会等の実施する研修会等へ参加し、教育施策の動向や教育に関する諸問題の把握及び情報交換等を行ったり、市内校長・教頭を対象とした管理職研修会にも参加し、教育委員の資質の向上に努めている。

また、教育長については、上記に加え、都市教育長協議会の実施する研修会等へ参加し、各市町村の教育長との情報交換や懸案事項について検証等を行っている。

### 3 平成21年度教育委員活動状況

4月	3日	教育委員会定例会
	6日	中学校入学式
	6日	大阪府市町村教育委員会教育委員長・教育長会議
	7日	小学校入学式
	8日	市史編纂委員委嘱状交付式
	10日	青少年指導員委嘱状交付式
	24日	大阪府都市教育長協議会総会
	27日	北河内地区人事協議会
	27日	北河内地区教育長協議会
	28日	大東市文化協会総会
5月	3日	青少年指導員野崎まいり巡視・啓発活動
	10日	大東アドベンチャークラブ入団式
	10日	第54回市民体育大会開会式
	11日	教育委員会定例会
	13日	大東市青少年協会総会
	14・15日	近畿都市教育長協議会定期総会
	16日	大東市PTA協議会総会
	19日	大阪府都市教育委員会連絡協議会第1回役員会
	21日	平成21年度第1回社会教育委員会議
	28・29日	全国都市教育長協議会定期総会及び研究大会大津大会
	31日	四条南小学校運動会
6月	6日	第22回公民館ふれあいまつり
	7日	ジュニアリーダー開講式
	7日	大東市スポーツ少年団本部総会
	12日	教育委員会臨時会
	17日	教育委員会定例会
	18日	教職員人事対策連絡協議会
7月	3日	大阪府都市教育長協議会定例会
	5日	第59回北河内地区総合体育大会卓球競技の部
	6日	北河内地区人事協議会
	6日	北河内地区教育長協議会
	7・8日	教育委員会委員研修（佐賀市成章中学校）

	10日	第25回青少年健全育成市民大会
	13・14日	北河内地区教育長協議会管外研修会
	17日	教育委員会定例会
7月	17日	青少年野外活動センターオープニングセレモニー
	23日	管理職等夏季研修会
	24日	大阪府都市教育長協議会夏季研修会
	26日	大東市こども会ソフトボール選手権大会開会式
	26日	ニューススポーツフェスティバル
	28日	管理職等夏季研修会
8月	11日	龍間運動広場ナイター照明点灯式典
	27日	大阪府都市教育長協議会定例会
	29日	青少年野外活動センター夏期エンディングセレモニー
	31日	大阪府都市教育委員会連絡協議会第2回役員会
9月	5日	南郷中学校落成式
	17日	教育委員会定例会
	20日	大東市バトミントン連盟30周年記念式典
	27日	小学校運動会
10月	1日	平成21年度第2回社会教育委員会議
	2日	大阪府都市教育長協議会定例会
	4日	中学校体育大会、幼稚園運動会
	6日	教育委員会定例会
	7日	文化財保護審議会
	10日	住道北小学校落成式
	12日	第30回大東スポーツカーニバル
	13日	平成21年度第1回青少年問題協議会
	14日	近畿市町村教育委員研修大会
	25日	スポーツ少年団フェスティバル
	29日	校長との懇談会（学力向上について）
	30日	校長との懇談会（学力向上について）
11月	2日	第54回市民文化祭オープニングセレモニー
	3日	文化の日式典
	3日	大東市こども会フェスティバル表彰式
	15日	住道北小学校運動会
	16日	大阪府市町村教育委員研修会
	17日	教育委員会定例会
	20日	大東市小・中学生弁論大会
	25日	ブロック別都市教育委員研修会

	25日	大東市小学校教育研究会 連合音楽会
	26日	大阪府教育委員会・府都市教育長協議会・府都市教育委員会連絡協議会による三者懇談会
12月	5日	大東市PTA研究大会
	6日	市民マラソン大会
	11日	教育委員会定例会
1月	11日	成人式
	15日	大阪府・市町村教育委員意見交換会
	15日	大阪府都市教育長協議会1月定例会
	17日	大東市こども会駅伝大会
	19日	教育委員会定例会
	25日	教職員人事対策連絡協議会
	28日	大阪府都市教育委員会連絡協議会主催教育委員長研修会
	29日	第3回北河内地区教育長協議会
	29日	第3回北河内地区人事協議会
2月	7日	大東市こども会スーパードッジボール大会
	10日	市町村教育委員会教育長会議
	15日	教育委員会定例会
	16日	市町村教育委員会教育長会議
	19日	第4回北河内地区教育長協議会
	19日	第4回北河内地区人事協議会
	19日	平成21年度第2回大東市青少年問題協議会
	22日	平成21年度第2回文化財保護審議会
	24日	社会教育関係団体人権問題研修会
	27日	北河内地区PTA協議会講演会
3月	12日	中学校卒業式
	14日	大東市アドベンチャークラブ・ジュニアリーダー修了式
	18日	小学校卒業式
	18日	平成21年度第3回社会教育委員会議
	21日	青少年指導員会総会
	21日	大東市こども会育成連絡協議会総会
	26日	教育委員会定例会
	26日	大東市連合婦人会総会



# 【事務事業評価シート】

学校教育部	教育研究所
-------	-------

評価項目	1	事業名	学び合う授業づくり(授業改善の推進)
------	---	-----	--------------------

事務事業の内容	21年度の取り組み状況	<p><b>目標</b></p> <p>大東市教育ビジョンの三本柱である社会力（人間関係づくり）、人間力（授業づくり）、支援力（教育環境づくり）を高めることを、学校の教育活動の中核である授業を改善することに結びつけ、大東市子どもたちに「確かな学力」と「生きる力」を育む。</p> <p><b>(1) 授業改善</b> 市内全小・中学校で「学び合い」（協同学習）の授業研究を推進すべく、モデル校に年間3回の外部指導講師を招いた「授業改善研究会」を開催し、教員の授業力・支援力を高めている。また、それぞれの取り組みの成果・課題等を全市的に共有すべく、取組状況を研修DVDや冊子にまとめて市内全校へ配信している。</p> <p><b>(2) 教職員研修</b> 夏季研修として、2日間、各校「授業づくり」中核教員60名（市採用非常勤講師9名含む）を対象に「ワークショップ研修」を実施し、協同学習の理論と技法の実際を学んだ。</p> <p><b>(3) 初任者研修</b> 初任者を対象に「ビデオ授業研交流会」（イブニングセミナー）を9月以降定期的に計画・実施している。これにより初任者交流はもとより、「学び合い」の視点を学び、各初任者の授業改善に役立っている。</p> <p><b>(4) 非常勤講師の配置</b> 現在、モデル校全てに市費非常勤講師を配置できており、きめ細かな支援の充実に向けた少人数指導やTT指導等で教育効果を高め、授業改善に結びつきやすい学習環境整備に努めている。</p>
---------	-------------	--

(円)

事務事業の実績	事業費総額	22,313,733	
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	
一般財源	22,313,733		
事業費内訳	学び合う授業づくり推進事業		

事務事業の評価	項目	評価	
	必要性	A	※A～Eまでの5段階評価
	有効性	B	A:非常に優れている
	効率性	C	B:優れている
	公平性	C	C:普通
	総合評価	B	D:やや劣っている
外部評価	B	E:劣っている	

評価コメント	「大東市教育ビジョン」の中核となる施策であり、市費による非常勤講師の配置など画期的な取り組みである。今後も授業改善の推進と非常勤講師の有効活用に期待したい。
--------	--

今後の取り組み成果・課題	<p>授業改善・学力向上に向けた各施策は順調なスタートをきっている。その現れとして、他校の「授業改善研究会」への参加、先進校の授業視察、新たに「学び合い（協同学習）」自主研修会も定期的に開かれる等実践の機運は高まっている。また、軽々には判断できないが、全国学力・学習状況調査の結果において、4領域合計平均正答率は全モデル校が昨年度より上昇しており、その平均は府・国を上回っている。モデル校にて実施したQ-I調査(年間2回、5月・2月実施)では、学習意欲の項目で9校中3校が全国平均を上回った。</p> <p>平成22年度はさらに事業を拡大するとともに、各校の授業改善の進捗把握及び市非常勤講師の活用状況把握等、その質の充実に努めたい。</p>
--------------	---

## 【事務事業評価シート】

学校教育部	教育政策室
-------	-------

評価項目	2	事業名	国語力の向上
------	---	-----	--------

事務事業の内容	21年度の取組み状況	<p><b>目 標</b> 国語力向上を重点的に図ることで、子ども達に豊かな心と言葉を育成し、基礎学力向上を含み、教育諸課題の改善を図る。</p> <p>(1) 校内LAN整備等 校内LANの設置や電子ボード等のICT機器の整備を図り、ICT機器の効果的な活用による授業づくりを推進した。</p> <p>(2) 学校図書館関係 学校図書館の蔵書を整備を行った。また、読書活動推進支援員を小学校に配置することにより、読書活動の推進を図った。</p> <p>(3) 弁論大会 弁論大会を11月に実施した。弁論大会の実施により、自分のものの見方や考え方を深め、ことばを的確に使用する力を高めようとする態度を育成した。</p>
---------	------------	---

(円)

事務事業の実績	事業費総額		24,302,687
	特定財源	国補助	14,000,000
		府補助	
		その他	10,302,687
	一般財源		
事業費内訳	国語力向上事業 (小・中学校、幼稚園)		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	A	
	効率性	B	
	公平性	A	
	<b>総合評価</b>	A	
	<b>外部評価</b>	A	

評価コメント	これからの時代に求められる国語力を見据え、語彙力や言語活動・コミュニケーション能力を高めるねらいがある。小学校の時から国語教育の充実を図る施策は高く評価できる。
--------	--

今後の取組み成果・課題	電子ボード等のICT機器を活用した効果的な指導の基盤づくりが進んだ。教員のみならず児童・生徒自身がICT機器を活用し、興味関心を高める魅力ある授業づくりの研究が一定進んだ。 また、学校図書館の蔵書整備が進み、朝の読書等の読書活動が定着するなか「読書が好き」と答える児童・生徒が増加している。
-------------	--

## 【事務事業評価シート】

学校教育部

教育政策室

<b>評価項目</b>	<b>3</b>	<b>事業名</b>	<b>自学自習力の向上</b>
-------------	----------	------------	-----------------

事務事業の内容	21年度の取り組み状況	<p>中学校における生徒の学習習慣の定着、学習意欲の向上を図るため、「放課後や土曜日の自習室」を設置し、教職員や学習支援アドバイザー（外部学習支援者）を配置することにより、個々の課題に応じた学習支援を行う。今後も、各学校の状況に応じて「自習室」への参加生徒数の拡充に努め、生徒の家庭学習習慣の定着につなげたい。</p> <p>・昨年度は、8中学校のうち2校の実施であったが、本年度から全8中学校で実施した。</p> <p>・平成21年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 実施回数：8校計 401回</li> <li>※ 参加生徒数(延べ)：8校計 約8135名</li> <li>※ 学習支援アドバイザー支援回数(延べ)：8校計 910回</li> <li>※ 継続(2校)の場合、(平均で)実施回数で22回増加、延べ参加生徒数も883人増加した。</li> </ul> <p>・家庭学習が定着していない生徒の学習の場、一斉授業で補いきれない個々の疑問・質問に対応する場、苦手な領域について反復学習に取り組む場、落ち着いた環境で自学自習に取り組む場として、生徒への支援及び教材の提供を行った。</p> <p>・生徒の変容として、「回を重ねるうちに、自主的に学習教材を持参するようになった。」「クラブ活動との両立が難しい生徒から、『テスト前などの単発的な参加も認めてほしい。』という要望も出るほど、関心が高まった。」「わかった生徒がわからない生徒に説明する場面（『学び合い』の姿勢）が増えてきた。」などの効果が見られた。</p> <p>・現役大学生、他事業の支援員（学校サポーター等）との兼務、学校支援地域本部事業との連携（学校支援CO等）及び元教職員等による「学習支援アドバイザー」を配置し、生徒への支援を行う。（8校計 42名の学習支援アドバイザー配置）</p>
---------	-------------	---

(円)

事務事業の実績	<b>事業費総額</b>	2,738,000	
	<b>特定財源</b>	国補助	
		府補助	690,500
		その他	
<b>一般財源</b>	2,047,500		
<b>事業費内訳</b>	大東・まなび舎事業		

事務事業の評価	<b>項目</b>	<b>評価</b>	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	A	
	効率性	B	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	A	
	<b>外部評価</b>	A	

評価コメント	数多くの生徒が参加することによって、学習習慣の定着と学習意欲の向上に繋げるための学習サポーター等の支援の充実に努めてもらいたい。
--------	--

<b>今後の取り組み成果・課題</b>	参加生徒からは、「学習習慣がついてきた」「わからなかったところが理解できた」「家での学習より集中できる」など成果の声が聞かれる。クラブ活動との兼ね合いにより生徒が参加しにくかったり、学習支援アドバイザーの大学生の都合等により予定した勤務ができないなどの状況もあり、実施形態の工夫（学校の状況に応じて「クラブ活動なしの日の設定」「土曜日実施の拡充」等）や学習支援アドバイザーの確保など今後の課題も見えてきた。
---------------------	---

# 【事務事業評価シート】

学校教育部 | 教育政策室

評価項目	4	事業名	小学校英語教育の条件整備
------	---	-----	--------------

事務事業の内容	21年度の取組み状況	<p>新学習指導要領に基づき、平成23年度から全面実施される「小学校外国語活動」の円滑な導入に向けての条件整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領実施への移行期間における「小学校外国語活動」（英語教育）の全小学校での実施。平成21年度は、全小学校5・6年において年間10時間以上の実施を目標として挙げており、年間計画に沿って実施した。 ※平成21年度実施時数平均 11.9時間</li> <li>・AETの活用とともに、地域人材等を活用し、担任や小学校英語担当者が進める「外国語活動」をめざしている。</li> <li>・外部指導講師を招聘しての校内研修や電子ボードを活用するための研修、校内授業研究等、各校において校内研修に努めた。</li> <li>・各小学校中核教員連絡会を実施し、「小学校外国語活動」（英語教育）の状況を情報交換したりマイクロティーチング等研修を行ったりすることで各校の英語教育を推進。また教材や教具の整備を実施した。</li> <li>・文部科学省事業「外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業」を受け、研究指定校において研究を推進した。</li> </ul>
	目標	新学習指導要領に基づき、平成23年度から全面実施される「小学校外国語活動」の円滑な導入に向けての条件整備を行う。

(円)

事務事業の実績	事業費総額	545,235	
	特定財源	国補助	
		府補助	83,146
		その他	
	一般財源	462,089	
事業費内訳	小学校英語教育条件整備事業		

事務事業の評価	項目	評価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	A	
	効率性	B	
	公平性	B	
	総合評価	B	
	外部評価	B	

評価コメント	全面的に実施される「小学校外国語活動」の円滑な導入に向けて、AETの有効活用をはじめ幅広く取り組める英語教育の環境整備を進めてもらいたい。
--------	---

今後の取組み成果・課題	<p>平成22年度は、移行期間最終年度として「小学校外国語活動」を年間20時間以上実施し、AETを活用しながら担任および小学校外国語活動（英語）担当が授業を進める。（※各校平成22年度実施予定時数平均 21.3時間）</p> <p>各校において計画的に研修計画を作成し、完全実施に向けてさらに研究を推進していく。市としても、中核教員研修（年間5回）を実施（うち2回は、公開授業研究会）する。</p>
-------------	---

## 【事務事業評価シート】

学校教育部	教育政策室
-------	-------

評価項目	5	事業名	学校教育を支援する外部人材の活用
------	---	-----	------------------

事務事業の内容	目 標	小・中学校の総合的な学習の時間や選択教科の授業、クラブ活動の支援に地域の優れた知識や技能を有する人材を講師として招き、学校の活性化を図り、教育力を向上させる。
	21年度の取組み状況	<p>年度当初に各校より年間活用計画（時期・活用人材・支援内容等）を提出し、実施申請に基づいて、各校が招聘した講師に報償費を支払った。</p> <p><b>【小学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動の指導・支援</li> <li>琴、将棋、パソコン、ゲートボール、サッカー、さおり織、太鼓、合気道等</li> <li>・総合的な学習、教科指導における指導・支援、学習支援</li> <li>理科（天体の学習）、水泳、ソーラン、馬頭琴、和楽器・合唱、手話・点字、平和学習、珠算、稲作・畑づくり、絵本の読み聞かせ、書道、刻印づくり、水墨画、茶華道、国際理解教育等</li> </ul> <p><b>【中学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の指導・支援</li> <li>サッカー、剣道、バドミントン、バスケットボール、卓球、ブラスバンド等</li> <li>・総合的な学習、選択・教科指導における指導・支援、学習支援</li> <li>平和学習、進路学習、障害者理解、日本舞踊、江州音頭、茶華道、ダンス、パッチワーク、プロジェクト・アドベンチャー等</li> </ul>

(円)

事務事業の実績	事業費総額	1,218,500	
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	
	一般財源	1,218,500	
事業費内訳	学校支援人材活用事業 (小・中学校)		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	A	
	効率性	B	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	B	
	<b>外部評価</b>	B	

評価コメント	外部人材講師のさらなる有効利用を図り、優れた知識や技能を有する学校の活性化と教育力の向上に繋げてもらいたい。
--------	--

今後の取組み成果・課題	各校における様々な教育活動の場面で、学校外部からの専門性のある講師を招聘して指導・支援を受けることで、指導内容が充実し、児童・生徒の興味・関心・意欲の向上が図られるとともに、地域人材と児童・生徒の交流が推進され、豊かな心の育成に資している。また、すぐれた技能や知識、高い専門性のある指導講師の指導支援は、教員の指導力の向上と、学校・地域の連携強化にもつながり、学校の教育力の向上を推進している。
-------------	---

# 【事務事業評価シート】

学校教育部

教育政策室

<b>評価項目</b>	<b>6</b>	<b>事業名</b>	<b>小中連携教育の推進</b>
-------------	----------	------------	------------------

事務事業の内容	21年度 の取 組み状 況	<p>大東市教育ビジョンの下、確かな学力の育成をめざし、①特別支援教育の視点を取り入れた授業方法の改善、②ICT機器を活用した授業方法の改善の2つの視点から研究推進する中学校区を指定し、授業方法の工夫改善について研究を進める。来年度以降は全ての中学校区を指定校クとして、研究実践を推進することを目標とする。</p> <p>①特別支援教育の視点を取り入れた授業改善の研究を行った (住道中学校区指定：住道中 住道南小 泉小)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科指導で一致した「わかる授業」の工夫（ナチュラルサポート）についての確認と共通理解・指定小中学校連絡協議会の開催（取組み報告・計画・立案）</li> <li>・指定校区合同研修会の開催（7月 実践報告及び大阪大谷大学 小田准教授による指導助言と講義）</li> <li>・取組み内容の発信（通信の配付等）</li> <li>・校内研究授業の実施（3学期）</li> </ul> <p>②ICT機器の活用を取り入れた授業改善研究を行った (南郷中学校区指定：南郷中 南郷小 氷野小)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定小中学校連絡協議会の開催（取組み報告・計画・立案）</li> <li>・指定校区合同研修会の開催（7月 実践報告及び愛知県犬山市立楽田小学校 川井教諭による指導助言講義）</li> <li>・電子ボードの活用研修（7月 民間PC教室講師・校内ICT担当教諭等）</li> <li>・校内研究授業の実施（1・2・3学期）</li> </ul>
---------	------------------------	---

(円)

事務事業の実績	事業費総額	485,228	
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	
一般財源	485,228		
事業費内訳	小中連携教育推進事業		

事務事業の評価	項目	評価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	A	
	効率性	B	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	B	
<b>外部評価</b>	B		

評価コメント	小中連携教育は、重要な課題であると認識しており、今後は、さまざまな視点を取り入れた授業改善に取り組み、交流等の活性化を図って一層の研究推進と研修の充実に努めてもらいたい。
--------	---

今後の取組み成果・課題	両指定校区ともに協議会及び公開授業研究会を実施し、市内に研究成果を普及した。成果として、教科や学年を超え、学校として共通した「目標」「手法」で授業改善に取り組む体制が構築されたこと、「特別支援教育の視点」の取組みでは、教科指導はもとより、学校行事等、平素の指導においても「わかりやすい指示や発問」の工夫が意識されたこと、「ICT機器」の活用では、「準備・操作の困難さ」から敬遠されがちであった実態が、研究・実践により徐々に改善されたことなどがあげられる。22年度は、新たに「生徒指導の視点」を取り入れた授業改善をテーマに加え、全中学校区で取組むこととし、一層の研究推進と研修の充実に努めたい。
-------------	--

# 【事務事業評価シート】

学校教育部 | 教育政策室

評価項目	7	事業名	長欠・不登校、いじめ対策推進
------	---	-----	----------------

事務事業の内容	目標	<p>長期欠席・不登校児童生徒数の減少は、今年度も教育委員会としての最重要課題であり、総合的な対策と具体的な取組みの充実を図る。</p> <p>いじめ問題については、今年度も全児童生徒を対象とした「いじめアンケート」を実施し、未然防止と早期発見・早期対応及び解決に努める。</p>
	21年度の取組み状況	<p>昨年度よりすべての中学校に市費による配置が可能になった「学校サポーター事業」や「適応指導教室事業」、府費の「不登校対応専任教員配置」、国費の「問題を抱える子ども等の自立支援事業」などの総合的な対策による相乗効果と学校の取組みの充実、各事業における支援員の大きな働きなどがあり、長期欠席児童生徒数・不登校児童生徒数ともに減少傾向にある。</p> <p>特に、環境の変化に伴う中学1年生の長期欠席・不登校生徒数の増加は、昨年度に引き続き抑制することができている。</p> <p>また、いじめ問題については、「いじめは絶対許されない」という共通認識のもと、全児童生徒を対象に「いじめアンケート」を11月下旬に実施し、未然防止と早期発見・早期対応及び解決に努めている。</p> <p>また並行して、人間関係における様々な問題を児童生徒自ら解決できるようにするための「エンパワメント研修会」を全小・中学校で実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席件数・・・前年比で小学校-4(62→58)中学校-21(204→183)</li> <li>・不登校件数・・・前年比で小学校-8(16→8)中学校-2(122→120)</li> <li>・いじめの認知件数・・・前年比で小学校-1(16→15)中学校-6(13→7)</li> </ul>

(円)

事務事業の実績	事業費総額	19,179,457	
	特定財源	国補助	
		府補助	1,051,966
		その他	
	一般財源	18,127,491	
事業費内訳	<p>問題を抱える子ども等の自立支援事業</p> <p>エンパワメント研修事業</p> <p>適応指導教室推進事業</p> <p>不登校緊急対策事業</p> <p>教育相談事業</p>		

事務事業の評価	項目	評価	※A～Eまでの5段階評価
	必要性	A	A:非常に優れている
	有効性	B	B:優れている
	効率性	C	C:普通
	公平性	C	D:やや劣っている
	総合評価	C	E:劣っている
	外部評価	C	

評価コメント	<p>学校だけでなく教育委員会の支援はもとより、地域・家庭が連携し施策の充実を図ってもらいたい。</p>
--------	--

今後の取組み成果・課題	<p>長期欠席・不登校児童生徒数の減少傾向だが、大阪府と比較すると高い数値を示している。なお一層の取組みが必要である。そこで、学校サポーターを中心とした、中学校1年生に重点をおいた長期欠席生徒・不登校生徒のみならず、兆しを見せている生徒への未然防止を含む早期発見・早期対応に努め、「適応指導教室事業」等の事業と合わせて、総合的によりきめ細かな対応と相談体制の充実を図っていくことにより、更なる長期欠席・不登校児童生徒数の減少をめざす。</p>
-------------	---

# 【事務事業評価シート】

学校教育部 | 教育政策室

評価項目	8	事業名	特別支援教育の推進
------	---	-----	-----------

事務事業の内容 21年度の取組み状況	目標	発達障害を含む障害のある幼児・児童・生徒への支援のため、市及び学校（園）の体制整備を行う。具体的数値目標として ①個別の教育支援計画・指導計画の支援学級児童生徒分を100%作成する。②校（園）内委員会を100%設置する。③支援教育コーディネーターの資質向上を目標とする。
	取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援教育コーディネーターの資質向上を図るとともに教職員の支援教育への理解促進を図った。（年間5回の支援教育コーディネーター研修・管理職研修・一般研修等）</li> <li>個別の教育支援計画・指導計画の作成及び指導ツールとしての活用を図った。</li> <li>巡回相談（教職員、保護者等に専門家見地からアドバイス）、巡回発達相談（発達検査を実施し、アドバイス）の充実を図った。</li> <li>介助員（支援学級在籍児童生徒の生活介助）、支援員（通常学級での児童生徒のサポート）の配置をした。</li> <li>通級指導教室（H20南郷小学校に設置）を充実させた。</li> <li>支援学級在籍の有無にかかわらず、支援の必要な幼児・児童・生徒への支援の充実を図った。（気づき→校（園）内委員会で支援方針を検討→実施→評価→再検討）</li> <li>関係機関との連携強化を図った。（健康いきがい課との肢体不自由児童生徒の機能訓練及び医師による健診、音楽療法、ことば・きこえの教室等）</li> </ul>

(円)

事務事業の実績	事業費総額	39,911,592	
	特定財源	国補助	970,000
		府補助	677,970
		その他	
	一般財源	38,263,622	
事業費内訳	特別支援教育充実事業 支援学級介助員（小・中学校） 支援学級運営費（小・中学校） 特別支援教育就学奨励費		

事務事業の評価	項目	評価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	A	
	効率性	B	
	公平性	B	
	総合評価	B	
外部評価	A		

評価コメント	支援員・コーディネーターの役割が重要であり、学校だけではなく教育委員会の支援はもとより、地域・家庭が連携し施策の充実を図ってもらいたい。
--------	--

今後の取組み成果・課題	<p>支援の必要な幼児・児童・生徒に係る個別の教育支援計画作成状況は進んできた（支援学級在籍児童生徒については全員作成を達成した）が、今後は指導・支援のツールとしての活用の充実を図る必要がある。</p> <p>校（園）内委員会を活性化させ、学校（園）全体の支援力を高めていく必要がある。</p> <p>支援教育コーディネーターの資質向上の研修については、事例研修において支援学校の先生を講師招聘し協議するなど、充実した内容の研修が実施できた。</p> <p>支援教育の充実が、全ての子どもたちの教育の充実につながるという意識は向上してきたが、今後さらに充実を図るために研修等を実施していく必要がある。</p>
-------------	--



## 【事務事業評価シート】

学校教育部	教育政策室
-------	-------

評価項目	9	事業名	学校適正配置の推進
------	---	-----	-----------

	目 標	大東市立小・中学校統合基本計画および大東市立小学校統合実施計画に基づき小学校を統合することにより一定の学校規模を確保し、教育環境の充実を図る。
	事務事業の内容 21年度の取組み状況	<p>(1) 学校統合準備事業 平成20年3月に策定した「大東市立小・中学校統合基本方針」の保護者、または地域説明会を経て、平成21年5月に「大東市立小学校統合実施計画」を策定し、四条小学校・四条南小学校の統合準備委員会を設置した。 統合準備委員会において、学校の名称、通学路対策などさまざまな課題の検討を毎月定期的実施した。統合準備委員会での検討内容は、保護者、地域住民に「統合準備委員会ニュース」を配布するとともに、市のホームページにおいて公開している。</p> <p>(2) 通学路安全対策 大東市小学校統合に係る通学路安全対策プロジェクトチームを設置し、通学路の安全対策を計画的に進めているところである。</p>

(円)

事務事業の実績	事業費総額		90,167
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	
一般財源		90,167	
事業費内訳	学校統合準備事業		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	B	
	効率性	C	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	<b>B</b>	
<b>外部評価</b>	<b>B</b>		

評価コメント	教育委員会は、それぞれの学校の地域特性を理解し、保護者や地域住民と共に検討し、より良い環境づくりに努めるべきである。
--------	--

今後の取組み 成果・課題	<p>引き続き大東市立小学校統合実施計画に基づき統合準備委員会を開催し、統合準備を進め、通学路の安全対策等さまざまな課題を保護者、地域の方々に理解が得られるよう進めていきたい。</p> <p>平成22年度には、北条小学校と北条西小学校の統合準備委員会を設置する予定であり、円滑な統合に向けて準備を進めていく。</p>
-----------------	--

## 【事務事業評価シート】

学校教育部	野崎青少年教育センター
-------	-------------

評価項目	10	事業名	野崎青少年教育センター事業
------	----	-----	---------------

事務事業の内容	目 標	子育て支援及び人材育成の観点から、諸事業を通して青少年の健全育成と自主的、組織的活動を推進するとともに、異年齢交流を図る。また、地域・家庭での教育力を向上させるとともに、地域青少年のリーダー育成を目指す。講師依存の教室事業からの転換を図る。
	21年度の取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室事業を52教室から39教室へ縮減し、学習機会提供・人材育成・子育て支援を行った。</li> <li>・子どもたちの放課後の「居場所」として、学年や学校を越えての利用があり、子どもたちの交流の場としても活用されている。</li> <li>・子どもたちが目的意識を持ってセンターに集まることのできるような、継続性と生産性のある活動に取組んだ。平日のデイサービスの中に、『日替わりデイサービス（週毎のローテーション）』を組み込み、指導員の技術を発揮できる活動の場を創設した。長期休業中デイサービスとして、子どものニーズに合った行事を企画・提供してきた。</li> <li>・リーダー育成事業は、アミーゴ大東の取組みを行い、夏期にPA (Project Adventure)の手法によるリーダー養成教室を実施した。延べ40人の青少年が参加しており、参加したリーダーは、その後夏休み中、ボランティアとしてセンターで活動を行った。</li> </ul> <p>さらに、春期教室では、実践編として、小学生3年生～6年生を対象とした日帰り野外活動を大東市立野外活動センターで実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育、生涯学習にかかわるさまざまな情報提供や教育センター通信「であ・い」などの発行を行い、地域・家庭の教育力の向上を支援してきた。</li> </ul>

(円)

事務事業の実績	事業費総額	2,820,121	
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	254,562
一般財源	2,565,559		
事業費内訳	青少年健全育成事業		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	B	
	有効性	B	
	効率性	B	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	B	
	<b>外部評価</b>	B	

評価コメント	自立と協同を念頭に置き、青少年健全育成と人権教育の視点に立った諸事業に取り組んでもらいたい。
--------	--

今後の取組み成果・課題	教育センターの機能・役割の見直しが進められており、次年度の事業計画を立案しているところである。リーダー育成事業は、今後もセンター活動の柱として取組みたい。次年度のリーダー養成教室を実施計画中である。新規の受講生を募集し、さらに強化したい。そのためにも、活動目的を明確にし、充実した事業に発展させたい。
-------------	--

# 【事務事業評価シート】

学校教育部	北条青少年教育センター
-------	-------------

評価項目	11	事業名	北条青少年教育センター事業
------	----	-----	---------------

事務事業の内容	21年度の取組み状況	<p>青少年の居場所づくりを基本事業とし、遊びやスポーツを通して、異年齢交流を図り、また、地域や学校との連携もしていく中で、青少年の健全育成に寄与する。</p> <p>(1) 青少年の居場所づくりとして、センターを一般開放し、「あそび」を通じての人間関係能力・集団のルールを学ぶ・忍耐力等を身につけさせた。</p> <p>(2) 月に2回、英語教室など各種教室を実施し、それぞれ幅広い意味での学習機会の提供をした。</p> <p>(3) 野外活動・太鼓教室・市内の小学校へ出向いてのけんだま教室の仕上げとして、第1回大東市けん玉大会などを実施し、生活体験の幅を広げた。</p> <p>(4) 中学校区地域教育協議会と連携して、ファミリー魚釣り大会・ファミリーミニキャンプ(8月)、センターの単独事業として、ファミリーレザークラフト(10月)等を実施し、親子の対話を深める機会の提供をした。</p> <p>(5) 地域連携事業として、ふれ愛フェスティバル等に事務局として参画した。</p> <p>(6) リーダー養成事業等を実施し、企画力・創造性などを育成することができた。</p>
	目標	青少年の居場所づくりを基本事業とし、遊びやスポーツを通して、異年齢交流を図り、また、地域や学校との連携もしていく中で、青少年の健全育成に寄与する。

(円)

事務事業の実績	事業費総額	2,298,812	
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	213,190
一般財源	2,085,622		
事業費内訳	青少年健全育成事業		

事務事業の評価	項目	評価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	B	
	有効性	B	
	効率性	B	
	公平性	B	
	総合評価	B	
外部評価	B		

評価コメント	自立と協同を念頭に置き、青少年健全育成と人権教育の視点に立った諸事業に取り組んでもらいたい。
--------	--

今後の取組み成果・課題	集団で遊ぶ事で、青少年が協調性・忍耐力等を身につける事ができた。 保護者・学校・地域との連携事業を進めることで、相互の交流が深まり、地域コミュニティの構築に大きく寄与できている。 職員体制及び事業等の見直しによる来館者の減少が起らないよう、地域との連携をさらに深めていきたい。
-------------	--

# 【事務事業評価シート】

学校教育部	学校管理課
-------	-------

<b>評価項目</b>	<b>12</b>	<b>事業名</b>	<b>大東市立学校・園大規模改修事業</b>
-------------	-----------	------------	------------------------

	目 標	安全な学校環境の整備を推進し、地域の防災の拠点化を図るため、耐震補強工事、老朽改修工事を実施する。
事務事業の内容	21年度の取組み状況	<p>本市の耐震化事業は平成10年度より順次実施しており平成20年度には、学校校舎25校園のうち13校の耐震改修が完了している。</p> <p>21年度には校舎3校、屋内運動場15校の耐震改修を実施し、屋内運動場の耐震化率は100%となっている。教育環境確保のための老朽改修として4校のトイレ改修の実設計を行っているところである。</p>

(円)

事務事業の実績	事業費総額	1,392,927,764	
	特定財源	国補助	770,243,000
		府補助	
		その他	516,800,000
	一般財源	105,884,764	
事業費内訳	四条北小学校大規模改造事業 四条南小学校大規模改造事業 氷野小学校大規模改造事業 住道北小学校改築事業 四条中学校大規模改造事業 南郷中学校大規模改造事業 小学校体育館補強事業 中学校体育館耐震補強事業 南郷中学校改築事業		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	B	
	効率性	C	
	公平性	C	
	<b>総合評価</b>	<b>C</b>	
	<b>外部評価</b>	<b>C</b>	

評価コメント	大東市は学校の耐震化工事が進んでおり、地域の防災拠点の整備という観点からも市民へ広報し、工事等への理解を求めている。
--------	--

今後の取組み成果・課題	耐震改修未実施校について順次改修を実施し、全校園の耐震改修を完了することが最優先課題となっているため、平成24年度までに全学校・園の耐震化を完了する予定である。また、学校の老朽かも深刻な状況であるため良好な教育環境の確保という観点からも耐震改修とともに取り組むべき課題である。
-------------	--

## 【事務事業評価シート】

学校教育部	学校管理課
-------	-------

評価項目	13	事業名	公立小学校の安全対策
------	----	-----	------------

事務事業の内容	目 標	児童の登下校の安全確認、見守りおよび在校中の児童の安全を図り、来校者への対応を行う。
	21年度の取組み状況	児童が安全で安心な学校生活を送るための環境整備が必要であり、本事業は市内の小学校15校すべてに児童の安全対策として、登下校の見守り、来校者の対応、校門の施錠確認等について、「学校管理員」を配置し、児童の安全確保を行っている。平成21年度は、年度当初より「学校管理員」を配置し、学校生活の安全確保を図ってきた。

(円)

事務事業の実績	事業費総額	20,020,515	
	特定財源	国補助	
		府補助	12,000,000
		その他	
一般財源	8,020,515		
事業費内訳	公立小学校安全緊急対策事業		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	B	
	効率性	C	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	<b>B</b>	
<b>外部評価</b>	<b>A</b>		

評価コメント	学校管理員の配置は、安全の確保に限らず、教育環境の向上にも寄与しており、引き続き学校管理員を配置できるように努めてもらいたい。
--------	---

今後の取組み成果・課題	平成23年度より大阪府の補助がなくなるので、学校管理員の継続・廃止を含めて検討を行う必要があり、今後は、新たな安全確保のための方策も検討しなければならない。
-------------	--

## 【事務事業評価シート】

学校教育部	学校管理課
-------	-------

評価項目	14	事業名	小学校給食調理業務委託
------	----	-----	-------------

事務事業の内容	目 標	学校給食の充実と効率的運営を図るため、調理業務の民間委託を継続して行う。また、民間委託業務の実施状況を検証し、その検証結果を踏まえ、学校給食の円滑な運営を推進する。
	21年度の取組み状況	平成13年度より順次民営化を進め歳出の削減に成功した。小学校全15校中13校を民営化し、他の2校は統合の対象校であり、新規の民営化は行わない。委託金額の積算は業者の参考資料から、厚生労働省発表の職種別全国平均給与を用いた委託健全化シートによる計算へ、契約方法も見積もり合わせによる契約から指名競争入札へと進出し、同委託契約も単年度契約の実質5年契約から単年度契約の実質3年契約に、また、全校に別途栄養士を配置（府籍職員も含む）し調理業務の履行確認だけでなくアレルギー児童を持つ保護者との面談など時代の変化にも柔軟に対応している。

(円)

事務事業の実績	事業費総額	209,364,991	
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	
一般財源	209,364,991		
事業費内訳	給食調理委託事業		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	C	
	効率性	C	
	公平性	C	
	<b>総合評価</b>	<b>C</b>	
	<b>外部評価</b>	<b>C</b>	

評価コメント	学校給食の安全かつ効率的運営を図るため業者選定の入札のあり方等について改善を加え、円滑な調理業務が推進できるよう努めてもらいたい。
--------	---

今後の取組み成果・課題	既に実質的には全校民営化は終了している。後は3年の更新による入札のみになる。指名競争入札も必ずしも最良とはいえない。早く現在の委託業者に対する客観的評価基準を定め、委託業者決定に反映させるなど入札に当たっては総合的評価に基づく入札に変えていく必要がある。
-------------	---

## 【事務事業評価シート】

生涯学習部	生涯学習課
-------	-------

評価項目	15	事業名	生涯学習の推進
------	----	-----	---------

	目 標	市民が自由に学び、身につけた能力を発揮できるよう、多様なライフスタイルやニーズに応じた生涯学習環境の充実を図る。
	21年度の取組み状況	<p>(1) 生涯学習内容の充実 市民が身近なところで気軽に学習できる機会を提供するため、生涯学習センター等の生涯学習施設において多様な講座を開催した。 講座の実施にあたっては、「だいとう人材問屋」の活用も進め、人気のパソコン講座については夜の時間帯の講座を新たに実施した。 また、ゴスペル講座では、受講者が成果発表を行うミニコンサートを開催するとともに、サークル結成に繋げるなど新たな取組みを進めている。</p> <p>(2) 情報提供の充実 市民の多様な学習ニーズに応えるため、団体・サークルの情報および市主催イベント情報を提供する学習情報誌「あそび探検まなび体験」を4月と10月に発刊した。</p>

(円)

事務事業の実績	事業費総額	91,223,058	
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	889,411
一般財源	90,333,647		
事業費内訳	生涯学習ルーム「まなび北新」運営事業		
	生涯学習ルーム「まなび泉」運営事業		
	生涯学習センターおよび文化情報センター管理運営経費		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	B	
	効率性	B	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	B	
	<b>外部評価</b>	B	

評価コメント	市民ニーズに配慮した講座や催し物の開催に努められており、「だいとう人材問屋」の活用は高く評価できる。さらに多くの市民の参加が図られる取り組みに期待したい。
--------	---

今後の取組み成果・課題	生涯学習施設を利用したことのない市民への生涯学習の機会提供を強化するため、平日昼間以外の講座実施についても充実を図り、幅広い世代の市民の参加を得ることができた。 今後も、引き続き市民ニーズを捉えた講座の充実を図っていく必要がある。また、講座修了者が市民活動を始めたり、指導者層に育っていく等の次の展開につながる仕組みづくりが重要である。
-------------	---

## 【事務事業評価シート】

生涯学習部	生涯学習課
-------	-------

評価項目	16	事業名	青少年の健全育成
------	----	-----	----------

事務事業の内容	目 標	<p>青少年健全育成のネットワークを強化するとともに、地域活動や子どもの安心・安全な居場所づくり等を通じて、青少年の健全育成を図る。</p>
	21年度の取組み状況	<p>(1) 地域ぐるみの育成活動 地域における児童の安全体制を充実するため、各小学校区において登下校時の見守り活動を実施しており、現在では3,000人以上の協力を得ている。また、青少年の健全育成に関わる団体や地域住民の連携強化を図り、7月には青少年健全育成市民大会を開催し、233名の参加があった。</p> <p>(2) 放課後子ども教室 子どもの安全・安心な居場所を確保するため、14小学校区で放課後子ども教室を実施した。地域住民の協力を得て伝承あそび教室等を実施し、地域の方との交流や児童の異年齢交流が深まっている。</p> <p>(3) こども会 子ども達の豊かな人間形成の支援を図るため、こども会において文化・スポーツを中心とした事業を行った。ソフトボール選手権大会では22チーム・454名が参加した。フェスティバルには226点の出展があった。駅伝大会は、39チーム・312名が参加した。ドッジボール大会は、25チーム・290名が参加した。(指導者含む)</p>

(円)

事務事業の実績	事業費総額		8,352,611
	特定財源	国補助	
		府補助	1,922,000
		その他	
	一般財源		6,430,611
	事業費内訳	青少年指導育成経費	
放課後子ども教室推進事業			
こどもの安全見まもり事業			
各種負担金(青少年)			
こども会育成振興事業			
こども会補助経費			
各種負担金(こども会)			

事務事業の評価	項 目	評 価	<p>※A～Eまでの5段階評価</p> <p>A:非常に優れている</p> <p>B:優れている</p> <p>C:普通</p> <p>D:やや劣っている</p> <p>E:劣っている</p>
	必要性	A	
	有効性	A	
	効率性	B	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	A	
<b>外部評価</b>	B		

評価コメント	<p>登下校の見まもり活動、放課後子ども教室など地域住民の協力によるところが大きい。今後も協力関係団体と連携、協力しながら積極的に取り組まれることを期待したい。</p>
--------	--

今後の取組み成果・課題	<p>子どもの安全見守り活動では、地域によって活動人数が異なるため、少人数地域に対して引き続き協力を呼びかけていく。</p> <p>放課後子ども教室については、今年度から実施校が2校増加した。今後は、全小学校区での実施に向けて取り組んでいく。</p> <p>子どもの健全育成を図る観点から、こども会活動の活性化および加入促進に向け取り組んでいく。</p>
-------------	---



## 【事務事業評価シート】

生涯学習部	生涯学習課
-------	-------

評価項目	17	事業名	文化・芸術活動の振興
------	----	-----	------------

事務事業の内容	目 標	市民が文化・芸術に触れ、鑑賞し、学ぶ機会を増やすことを通じて、多くの市民が文化・芸術活動に親しむことができる取り組みを、芸術・文化の拠点である総合文化センターにおいて充実していく。
	21年度の取組み状況	<p>(1) 第54回市民文化祭 10月31日から11月3日までの4日間において総合文化センターで、「展示の部」「舞台発表の部」からなる市民文化祭を開催した。市民の日頃の文化・芸術活動の集大成の発表の場として定着しており、今年度も開催期間中のべ4万人以上の参加があった。</p> <p>(2) サーティホール自主事業 市民実行委員による検討会議で以下の事業を計画し実施した。</p> <p>① 沢田研二ライブ (6月20日 1170枚売上) ② 稲垣潤一ライブ (9月26日 640枚売上) ③ 日本の名作映画「にぎりえ」「あすなる物語」「雁の寺」 (9月27日 398枚売上) ④ ラテンコンサート (ワインコンサート) (12月4日 123枚売上) ⑤ 大阪シンフォニカー交響楽団 (2月28日 781枚売上)</p> <p style="text-align: right;">合計 3,112枚</p>

(円)

事務事業の実績	事業費総額	26,642,026	
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	12,089,218
	一般財源	14,552,808	
事業費内訳	市民文化自主事業 市民文化振興事業 文化振興事務事業費		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	A	
	効率性	B	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	A	
	<b>外部評価</b>	A	

評価コメント	市民のニーズに配慮した催し物の開催に努められている。今後も多くの市民が参加できるように取り組んでもらいたい。
--------	--

今後の取組み成果・課題	市内の文化・生涯学習活動人口は増加しており、新規団体・個人の参加を促進するような運営手法について検討が必要である。 大人対象の公演の他、幼児向けの公演など、子どもが芸術文化に触れる機会となるための事業も実施していく必要がある。
-------------	--

## 【事務事業評価シート】

生涯学習部	生涯学習課
-------	-------

評価項目	18	事業名	地域文化資源の活用
------	----	-----	-----------

事務事業の内容	目 標	文化財や伝統文化などの地域文化資源を市民の共有財産として位置付け、保存と活用を図る。
	21年度の取り組み状況	<p>(1) 文化財保存活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に調査を実施した平野屋新田会所跡の出土遺物の整理を行い、報告書を刊行した。</li> <li>・10月には、北河内7市と連携の広域講座「新田開発の遺産を訪ねて」を開催した。</li> <li>・飯盛山城址や古堤街道（①諸福地藏堂内 ②住道駅前デッキ ③泉小学校正門前）に石柱や文化財説明板を設置して周知を図った。</li> </ul> <p>(2) 市史編纂（市史編纂委員2名に委嘱）</p> <p>諸福地区、新田地区の古文書の整理編集作業を実施。ボランティアが主体となり、「平野屋会所文書」の近代資料と河合家文書の整理作業を行った。</p> <p>(3) 文化財保護審議会</p> <p>市指定文化財3件について審議し、新たに登録を行った。</p> <p>(4) 文化財資料整理事業・収蔵文化財整理事業</p> <p>府の雇用対策交付金を活用し、昔の民俗資料等のクリーニングや、各市から送付を受けた報告書や刊行物等のデータベース化を実施した。</p>

(円)

事務事業の実績	事業費総額	11,577,941	
	特定財源	国補助	1,163,000
		府補助	6,336,750
		その他	173,150
	一般財源	3,905,041	
事業費内訳	市史編纂経費 文化財保護審議委員報酬 文化財保存活用事業 文化財調査事務所経費 文化財資料整理事業（ふるさと雇用） 収蔵文化財整理事業（緊急雇用）		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	A	
	効率性	C	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	B	
	<b>外部評価</b>	B	

評価コメント	私たちが生活しているまちの歴史や文化を知ることは、市民にとって大切である。今後も大東市の歴史や文化を学べる機会を増やしてほしい。
--------	--

今後の取り組み成果・課題	今後も民俗資料や刊行物等の整理を進め、平成24年度に四条小学校跡地に移転予定の歴史民俗資料館で、研究者はもとより、市民にも広く公開・活用してもらおう。 主要な街道等への文化財説明板の設置を計画的に進めていく。 平野屋新田会所跡の土地の一部を購入し、保存・整備を行っていく。
--------------	--

## 【事務事業評価シート】

生涯学習部	生涯学習課
-------	-------

<b>評価項目</b>	<b>19</b>	<b>事業名</b>	<b>四条小学校の跡地利用</b>
-------------	-----------	------------	-------------------

事務事業の内容	目 標	<p>四条小学校の校舎を含めた跡地を活用した施設整備を行い、広く市民が利用しやすい文化・スポーツ環境を提供する。</p>
	21年度の取組み状況	<p>平成21年5月に「大東市立小学校統合実施計画」が策定されたことに伴い、四条小学校跡地の活用について検討を開始した。</p> <p>7月に「四条小学校跡地活用基本計画」を作成し、東部図書館、歴史民俗資料館、スポーツ施設、および住民交流施設を併せた複合施設として整備する方針を定めた。</p> <p>12月に実施設計委託料について、補正予算および債務負担行為の議決を受け、2月に構造計算を含む実施設計を開始し、3月に地質調査を行った。</p>

(円)

事務事業の実績	事業費総額	1,848,000	
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	
一般財源	1,848,000		
事業費内訳	四条小学校跡地活用事業		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	B	
	効率性	B	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	B	
<b>外部評価</b>	A		

評価コメント	<p>学校統合後の跡地の有効活用として、図書館・歴史民俗資料館・体育施設等の施設整備を計画されており、高く評価できる。</p>
--------	---

今後の取組み成果・課題	<p>平成24年4月オープンに向けて、今後は、管理運営方法等の詳細について検討を進めていく。</p>
-------------	--

## 【事務事業評価シート】

生涯学習部	スポーツ振興課
-------	---------

評価項目	20	事業名	スポーツ施設の充実
------	----	-----	-----------

事務事業の内容	目 標	<p>体育施設の機能の充実及び拡大により、広く市民の間にスポーツを振興し生涯スポーツの推進を図る。</p>											
	21年度の取組み状況	<p>体育施設の老朽化について、多様な施設を整備してきたところである。                  また、既存施設の機能の充実、拡大により、龍間運動広場ナイター照明整備事業を施工した。ナイター照明整備工事については、5月初旬入札後、8月初旬の完成に向け計画どおり順調に進み完了した。                  その際、整備工事中のグラウンド使用においては、平常どおり行った。                  また、8月の供用開始に向け、「大東市体育施設条例」の一部を改正する条例等を制定した。                  工事完了後は、近隣住戸に輝度が強く感じられたため、遮光ネット等設置の追加工事を行った。</p> <p>※照明鉄塔 4基</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%;">【野球】</td> <td style="width: 20%;">平均照度</td> <td style="width: 10%;">内野</td> <td style="width: 10%;">1000lx</td> <td style="width: 10%;">外野</td> <td style="width: 10%;">480lx</td> </tr> <tr> <td>【ソフトボール・サッカー】</td> <td>〃</td> <td></td> <td>310lx</td> <td>〃</td> <td>140lx</td> </tr> </table>	【野球】	平均照度	内野	1000lx	外野	480lx	【ソフトボール・サッカー】	〃		310lx	〃
【野球】	平均照度	内野	1000lx	外野	480lx								
【ソフトボール・サッカー】	〃		310lx	〃	140lx								

(円)

事務事業の実績	事業費総額	127,017,450	
	特定財源	国補助	
		府補助	
		その他	20,000,000
一般財源	107,017,450		
事業費内訳	龍間運動広場ナイター照明整備事業		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	B	
	効率性	B	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	B	
	<b>外部評価</b>	B	

評価コメント	龍間運動広場のナイター照明が整備され、稼働率の向上が期待できるが、他にも活動できる施設を検討してもらいたい。
--------	--

今後の取組み成果・課題	<p>ナイター照明を設置したことにより、平日の夜間利用の需要が多くなるとともに、広く市民の間にスポーツの振興を図れている。                  また、指定管理者が管理運営を行っているため、ナイター照明器具の維持管理を行うとともに、各関係団体等にナイター照明の広報等を行い、グラウンド利用の稼働率を上げていく。</p>
-------------	---

## 【事務事業評価シート】

生涯学習部	スポーツ振興課
-------	---------

<b>評価項目</b>	<b>21</b>	<b>事業名</b>	<b>体育・スポーツの振興</b>
-------------	-----------	------------	-------------------

事務事業の内容	目 標	市民の健全な心身の保持・増進を図ることができるよう体育・スポーツ活動を充実する。
	21年度の取組み状況	<p>(1) 市民スポーツの推進事業 市民が気軽に楽しめるよう各種事業を推進するとともに、誰もが一緒に参加して気軽にスポーツに親しみ、楽しめるニュースポーツ等の普及、促進の指導を活動団体とともに取り組んだ。特に、カローリングについては、平成18年度より取り組み、スムーズに大会ができるようになってきている。</p> <p>《主な事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民体育大会    ・ニュースポーツフェスティバル    ・スポーツカーニバル</li> <li>・市民マラソン    ・地域ファミリースポーツ大会</li> </ul> <p>(2) 総合型地域スポーツクラブへの支援 大阪産業大学を拠点とした『いきいき大東スポーツクラブ』が、4月より本格的に運営を開始した。 本市は、月1回行われる運営委員会に理事として参加し、広報等の育成支援を行っている。</p>

(円)

事務事業の実績	事業費総額		3,802,877
	特定財源	国補助	235,000
		府補助	117,000
		その他	
	一般財源		3,450,877
事業費内訳	市民体育大会委託事業 大東市ニュースポーツフェスティバル事業 スポーツ振興基金運用事業 市民マラソン大会事業		

事務事業の評価	項 目	評 価	※A～Eまでの5段階評価 A:非常に優れている B:優れている C:普通 D:やや劣っている E:劣っている
	必要性	A	
	有効性	B	
	効率性	C	
	公平性	B	
	<b>総合評価</b>	<b>B</b>	
	<b>外部評価</b>	<b>B</b>	

評価コメント	より多くの市民が気軽に参加できるように、今後も市民の健康づくり・体力づくりの施策に取り組んでもらいたい。
--------	--

今後の取組み成果・課題	市民スポーツの推進事業については、各事業の見直しを行い、多数の市民が参加できるような企画及び市民協働によるイベント等を立案するとともに、市の広報紙及びホームページ等で広報していく。 『いきいき大東スポーツクラブ』を運営していく必要な会員数を確保する必要があるため、広報等の育成支援を今後も継続していく。
-------------	--

### 第3 点検・評価に関する有職者からの意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に基づき、点検・評価の客観性を確保する観点から学識経験者の意見をいただきました。意見は次のとおりです。

#### 1 教育委員会活動について

大東市教育委員会は、平成21年4月に策定された「大東市教育ビジョン」および平成20年3月に策定された「大東まなびの文化創造プラン」に基づき、様々な施策が展開されている。

学校教育部においては、教育ビジョンに掲げた「大東のめざす子ども像」の実現に向けた、社会力・人間力・支援力を高める諸施策の実施、取り組みに期待する。

生涯学習部においては、生涯学習・スポーツ・文化を通じて、市民が楽しく心豊かで充実した生活を送れるような施策の展開を期待する。

また、教育委員の活動については、定例的な会議出席等の他、学校現場との交流に積極的に取り組み、各種行事や研修会へ参加し、自ら資質の向上に努められていることは良いことである。今後も学校現場の意見を反映しつつ、教育委員会の活動に期待したい。

#### 2 主要な施策について

教育を取り巻く環境や社会情勢がめまぐるしく変化する中、より効率的かつ効果的な教育行政を推進していくことが求められている。

複雑化、多様化する教育をめぐる諸問題に対応していくためには、とりわけ教育の在り方を見直し、新たな対応策や取り組みを進めていく必要があると考えている。

教育委員会の活動においても、点検・評価の見直しを行い、固定化、マンネリ化することなく、教育現場の状況をしっかりと把握し、時代や地域のニーズにあった教育事務事業を展開することがますます重要となってきた。

本市教育ビジョンに示されているように主な教育課題である①自立と協同する力を育む人間関係づくり②可能性を追求し、自ら学ぶ力・学びあう力を育む授業づくり③学校・家庭・地域社会が協同する教育環境づくりについて事務事業の展開の中でその解決が図れるよう積極的に取り組んでもらうとともに本市教育の充実・発展に向け、教育委員会のさらなる努力と活躍を大いに期待している。

今後も引き続き、自立と協同する力を進めながら、学校・家庭・地域社会が相互に学びあえる教育環境の創出の実現と協同関係のもと連携を図りながら小・中学校の学力向上と教育の発展に望ましい総合的な事業・施策の展開と内容の充実に取り組んでもらいたい。

また、高度化・多様化する市民の学習ニーズに対応し、全ての人が生涯にわたって学習し、その成果を活かせる機会の拡充を図るため、市民参画の視点のもと、生涯学習の各種施策を各課と連携しながら総合的に推進していくとともに、社会教育関係団

体との協力体制づくりを強化し、生涯学習の一層の充実に向けての支援に努めてもらいたい。

多様な分野や様々な水準に及ぶ市民のスポーツニーズに応えられる機会を確保し、スポーツ活動を推進する環境整備を図り、多様な文化を鑑賞できる機会の充実や多くの市民が文化活動に触れる環境づくりに努めることが重要であると認識しており、様々な文化振興自主事業の促進と広報活動の普及に努めてもらいたい。

これからも厳しい行財政にあっても、教育行政・サービスを後退させることなく、様々な領域においても創意工夫を重ね、本市教育の発展・充実に向けた取り組みを着実に推進してもらいたい。

最後に、本市の教育課題の解決と教育環境の充実に繋がる「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」となることを期待し、本市の今後のさらなる教育行政の発展を願うものである。

平成22年 9月 1日

大阪産業大学教授 木村 忠雄

元大東市立小学校長 近重 修